

発泡容器向けポリプロピレン

開発ステージ

研究・開発段階

導入検討段階

実用化段階

キーワード

軽量化

モノマテリアル化

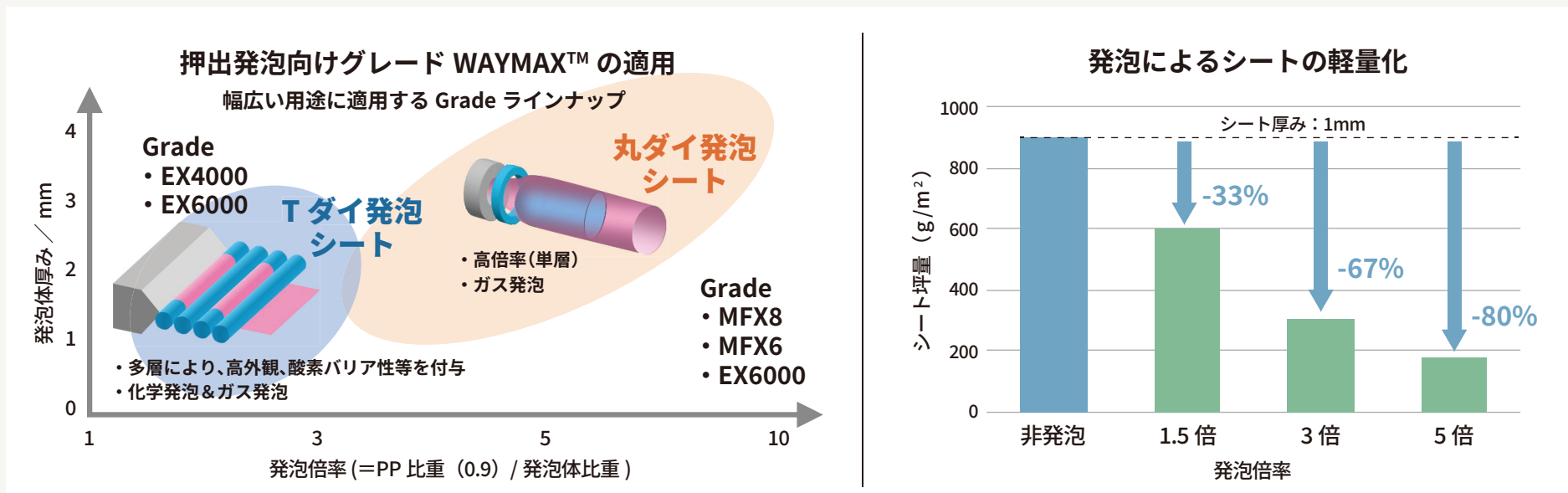
用途

レンジアップ対応食品容器／弁当・惣菜等の容器

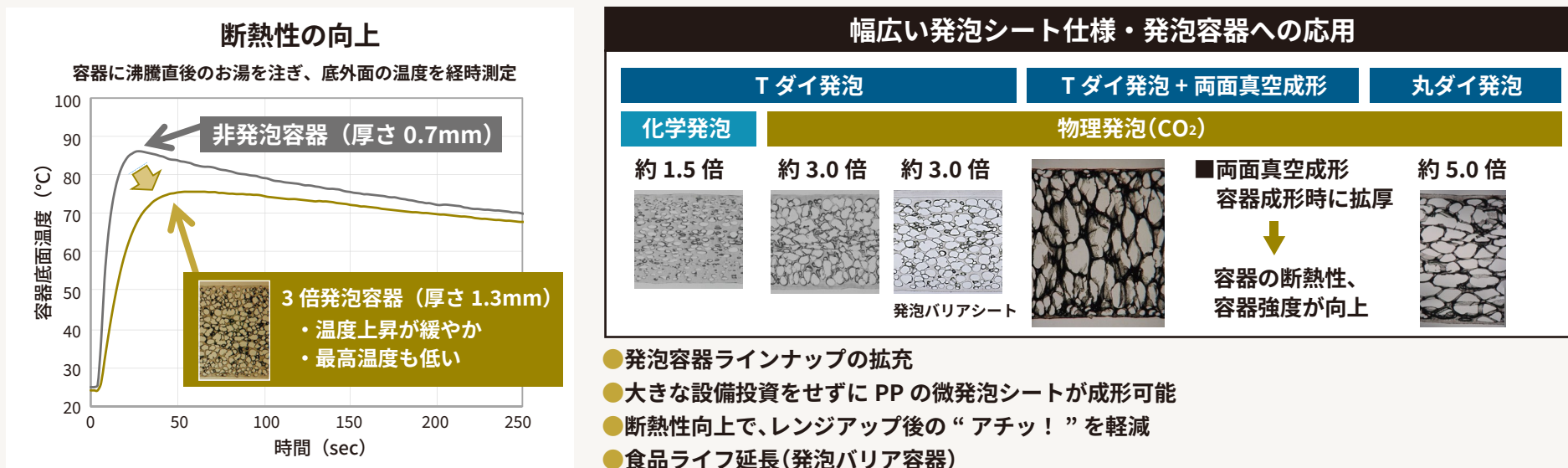
課題

- レンジ加熱後の容器が熱すぎて持てない（断熱性不足）
- 食品ロス削減、容器の軽量化（樹脂量削減）をしたい
- PS 発泡の代替検討を進めたいが、PP の押出發泡は成形難易度が高い
- PP 発泡容器の特性を向上したい

ソリューション



ベネフィット

お問い合わせ |  日本ポリプロ株式会社

免責事項 本資料に記載された試験結果、技術情報、推奨事項等は、弊社が蓄積した経験および実験室データに基づいて作成したもので、異なった条件下で使用される製品にそのまま適用できるとは限りません。従いまして、お客様の製品、使用条件にそのまま適用できることを保証するものではなく、それらの活用に関してはお客様で責任を持って判断する必要があります。弊社はいかなる場合においても、本製品を単独または他の製品と組み合わせて使用した場合の、製品への適合性及び本書に記載された用途における市場性と安全性については保証しません。